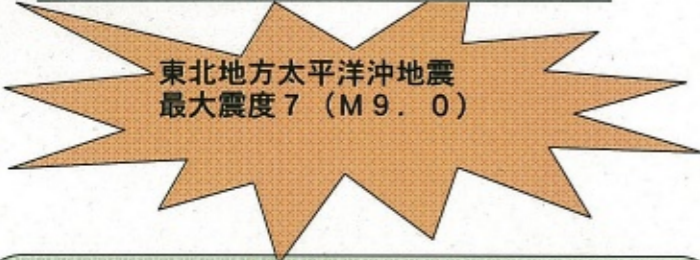


農山漁村地域復興基盤総合整備事業「ほ場整備事業」について（四郎丸地区）

①地域の被災状況



平成23年3月11日（金）午後2時46分、三陸沖を震源とした地震が発生しました。その後、津波が沿岸部に押し寄せ、各地に甚大な被害を及ぼしました。

被害状況(仙台市全体)

- ・農地農業用機械 721億円
- ・漁業関係 8億円
- ・市有施設関係 3,270億円
(道路、上下水道、学校等)
- ・住家・宅地等 5,528億円

②仙台市震災復興計画

復興に向けた基本方針

- ◇農地のがれき撤去は完了していることから、農業用施設の復旧や農地の除塩など、営農再開に向けた取り組みを加速します。
- ◇東部地域を「農と食のフロンティア」として復興するため、農地の大区画化や集約・高度利用や法人化などの農業経営の見直し、大学や研究機関、民間資本等との協力による市場競争力のある作物への転換や6次産業化の促進などの取り組みを支援します。

中心的な取り組み

- ◇農業者の経営基盤強化支援・・・大規模土地利用型農業や、土地集約型農業など、多様な担い手の育成と多様な農産物の生産体制の構築を支援。
- ◇6次産業化の促進・・・農業の高付加価値化や高度化を促進。
- ◇農と食のフロンティアの構築・・・東部地域を農業が生まれ変わる拠点として位置づけ、農業の担い手が将来の夢を持って安全・安心な「新しい食」のあり方を提案。



農地の被災状況（四郎丸地区）



排水機場被災状況（閉上地区）



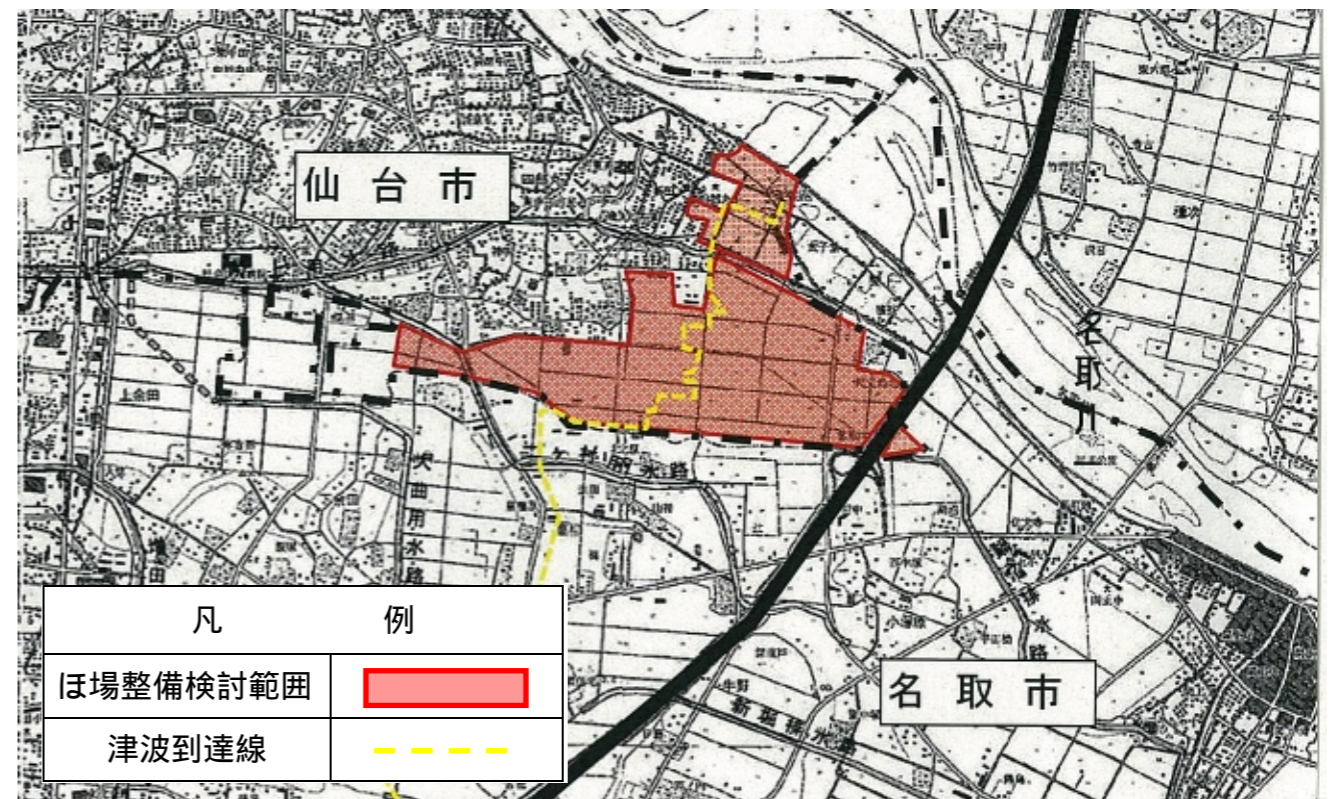
排水機場被災状況（寺野地区）

③農山漁村地域復興基盤総合整備事業

国が創設した東日本大震災復興交付金事業の一つとして、農山漁村地域復興基盤総合整備事業により、国、県が事業費の約九割が負担し、農地のほ場整備を行うことができるよう検討しています。

また、通常のほ場整備では農業者の方々に一定割合の負担がありますが、四郎丸地区の農業の復興に向け、農地の区画の大規模化や集約化など、ほ場整備を迅速かつ円滑に実施するため、今回に限り農業者負担分を仙台市で負担します。

ほ場整備の実施については、農家の皆様の意向を伺った上で、今後検討していきたいと考えています。



災害復旧・区画整理工程表

工種	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
ガレキ撤去	[Progress bar from 23 to 24]				
へドロ撤去	[Progress bar from 23 to 26]				
農地復旧 施設復旧	[Progress bar from 23 to 26]				
除塩	[Progress bar from 23 to 26]				
営農再開	[Progress bar from 24 to 27]				
区画整理	[Progress bar from 24 to 27]				

関係機関：宮城県、仙台市、名取土地改良区、JA仙台